

すももの郷通信

落合小
学校通信
No. 5
2022,6,17
発行 宮崎

三猿とお元気三猿

三猿といえば、日光東照宮の「見ざる、言わざる、聞かざる」が有名ですが、埼玉県にある秩父神社の三猿は同じ徳川家ゆかりの御社にもかかわらず、まったく違う表情をしています。日光の三猿は、目をかくし、口をかくし、耳をかくし、「見ざる、言わざる、聞かざる」とう叡智の3つの秘密を表しているそうです。秩父神社の三猿は「よく見、よく聞いて、よく話そう」ということで、現代の情報化社会にふさわしく俗に「お元気三猿」として親しまれています。人と人との関わり合いやつながり、話し合いが不足している現代において、「よく見、よく聞いて、よく話そう」という問いかけが注目を集めているのです。



スマホやAIの発達によって、ネット、電話、メール、ライン、ミーティング、ZOOM、チームズなど人との通信手段は豊かになったといえます。が、人との距離が近づいたかどうかは怪しいところですよ。

情報化社会の現在、直接人と話し合い、人の話を聞いたり知恵を出し合ったりすることの大切さは、人が社会的存在であることを示しています。人とのふれあいは人を元気にし、心を温かくしてくれます。「よく見、よく聞いて、よく話そう」学校はそういうところでありたいと思います。



水泳の授業が始まりました 3年ぶりのプールです！！

昨年度、一昨年度はコロナの影響でプールを開くことができませんでした。今年度は、1学期のみの限定ではありますがプールが開催されます。開催に向けて、職員でコロナ対策を検討したり、運営方法の確認をおこなったりしました。

5月26日（木）には、4・5・6年生でプール清掃をおこないました。まさに、3年分の汚れでしたが、プールへ入れることの喜びと感謝の気持ちからか、とてもよく働く子どもたちの姿が印象的でした。

6月6日（月）には、『安全にそして、水泳が上達しますように』と、児童会長と体育委員の代表と小林先生と校長でプール開きを行いました。

そして、6月13日（月）3年生・4年生・2年生がついに、初泳ぎを行いました。安全で楽しいプールとなるよう職員と子どもたちとで創っていきます。



久しぶりの水の感触です



丁寧に清掃してくれました。



安心安全をお願いしました。

短歌を紹介します。

6年生が短歌に挑戦しました。廊下に掲示してあるのですが、立ち止まってゆっくり読んでみると、どの子の作品も情景が目浮かんでくるものばかりで感心してしまいました。せっかくだから、全作品を紹介したいとおもいます。

たのしみは 休日の風 自らと音楽奏で ピアノひく時 I・Y	たのしみは 畑耕し 休んでは 祖母と必死に 汗流す時 A・J	たのしみは 蒸した夜の中カラカラと すずしい声に 気持ち落ち着く時 Y・R	たのしみは 愛犬飼って 大切に みなで成長みとどける時 I・E	たのしみは 愛しき犬と 道をゆき だいたい色の 空見るとき S・R	たのしみは 必死に球を拾い上げ たくさん声かけ もりあげる時 H・S	たのしみは 接戦の球追いかけて 友といっしょに 笑い合う時 S・T	たのしみは 散歩道駆け 我が犬と 四季めぐる間を 感じ合う時 S・K	たのしみは 静かな夜の 初夏の風 夏のおとずれ 感じる時 S・A	たのしみは 今日の思いをかたりあい 家族回らん 笑い合う時 K・S
たのしみは 親しい友と楽しげに 青空の下 笑顔なる時 M・N	たのしみは 家族みんなで睦まじく ゆったり共に 過ごす時 K・N	たのしみは 声をかけ合い友だちと 球をつないで打ち上げる時 M・M	たのしみは 日々の課題をのりこえて 家でゆっくり 過ごす時 Y・K	たのしみは 広い球場走りぬき ホームに帰り ほめられる時 S・T	たのしみは 音楽室で歌声を みんなで重ね 響かせる時 H・Y	たのしみは 強てきかわしもり上げて 空に手を上げ よろこび合う時 H・R	たのしみは 新しき曲聞くたびに もりあがっていく ワクワクの時 K・T	たのしみは 友といっしょに道をかけ 外で楽しく 笑い合う時 A・N	たのしみは スケート行った富士急で みんなころんで わらう時 S・A

学校開放日、お越しいただきありがとうございました。 6月16日(木)



水着に着替えた、一年生



タブレットを使って観察する二年生



A・L・Tとの英語活動を行う三年生



道徳「自分をもっと好きになろう」四年生



道徳「私のたからもの」五年生



図工「クラシク」の仕組みを生かしての六年生

* 参観していただいた、ご意見やご感想は今後の学校経営にいかしてまいります。また、過日は通学路の安全点検にご協力いただきありがとうございました。今後も、何かございましたら遠慮せずにご相談ください。